

2019年（令和元年度）
財務専門官 基礎能力試験の出題例

【判断推理】

ある幼稚園の園児に、犬、猫、家、ペンギンのそれぞれについて、「好き」又は「好きでない」のいずれであるかを尋ねた。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- ・犬が好きな園児は、猫が好きでない。
- ・象が好きな園児は、ペンギンも好きである。
- ・猫が好きな園児の中には、象も好きな園児がいる。
- ・象が好きな園児の中には、犬も好きな園児がいる。

- 1.ペンギンだけが好きな園児がいる。
- 2.ペンギンが好きな園児は、犬、猫、象のいずれも好きである。
- 3.犬が好きでない園児は、象も好きでない。
- 4.犬も猫もどちらも好きでない園児は、象とペンギンのどちらも好きである。
- 5.犬が好きな園児の中には、ペンギンも好きな園児がいる。

2019年（令和元年度）
財務専門官 基礎能力試験の出題例

【数的推理】

あるレストランには、前菜、肉料理、魚料理、サラダ、スープ、デザート、の6種類の料理がある。これらのうちから、2種類以上を組み合わせて食事をするとき、その組合せは何通りか。ただし、サラダ、スープ、デザートのうちから、2種類以上を選択することはないものとする。

1.22 通り

2.25 通り

3.28 通り

4.31 通り

5.34 通り

2019年（令和元年度）
財務専門官 基礎能力試験の出題例

【生物】

ヒトの受容器に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 近くのものを見るとき、眼では、毛様筋が緩み、水晶体を引っ張っているチン小帯が緩むことで、水晶体が厚くなる。これにより、焦点距離が長くなり、網膜上に鮮明な像ができる。
2. 網膜には、薄暗い場所でよく働く桿体細胞と色の区別に関与する錐体細胞の2種類の視細胞が存在する。このうち、桿体細胞は、網膜の中心部の盲点と呼ばれる部分によく分布している。
3. 耳では、空気の振動として伝わってきた音により、鼓膜が振動する。これが中耳の耳小骨を経由し、内耳のうずまき管に伝わり、その中にある聴細胞が興奮することにより、聴覚が生じる。
4. 内耳には、平衡覚の感覚器官である前庭と半規管があり、半規管は空気で満たされている。体が回転すると、前庭にある平衡石がずれて感覚毛が傾き、回転運動の方向や速さの感覚が生じる。
5. 皮膚には、圧力を刺激として受け取る圧点、温度を刺激として受け取る温点・冷点などの感覚点がある。これらの感覚点は、部位によらず、皮膚全体に均一に分布している。

2019年（令和元年度）
財務専門官 基礎能力試験の出題例

【日本史】

鎌倉時代から江戸時代までの我が国の対外関係に関する記述として最も妥当なのはどれ

- 1.13 世紀後半、元のフビライ=ハンは、日本に朝貢を求めたが、北条時宗はその要求に応じなかった。元は、文禄の役、慶長の役と二度にわたって日本に兵を派遣したが、高麗や南宋の援軍を得た日本軍は、集団戦法や火薬で圧倒し、元軍を二度とも退けた。
- 2.15 世紀初め、国内を統一した足利義満は、対等な通交を求めてきた明に使者を送り、国交を開いた。この日明貿易では、正式な貿易船と海賊船とを区別するために勘合という証明書が用いられ、その後、16 世紀半ばまで、室町幕府が貿易の実権を独占した。
- 3.16 世紀半ばに始まった南蛮貿易では、主に、銅銭、薬草、生糸などを輸入し、刀剣、銅、硫黄などを輸出した。南蛮船で日本に来たキリスト教の宣教師は、布教活動を行ったが、キリスト教信者の増大を警戒した九州各地の大名によって国外に追放された。
- 4.17 世紀、江戸幕府は当初、諸外国との貿易に意欲を出し、キリスト教を黙認していたが、後に貿易統制とキリスト教の禁教政策を強化していった。そして、異国や異民族との交流は長崎・対馬・薩摩・松前に限定され、鎖国と呼ばれる状態が完成した。
- 5.18 世紀末以降、中国・ロシア・アメリカ合衆国などの諸外国が日本に開国を求めた。19 世紀半ばには、アメリカ合衆国のペリーが二度来航したことを受け、江戸幕府は、自由貿易や下田・箱館の開港などを内容とする日米和親条約を結ぶこととなった。

2019年（令和元年度）
財務専門官 基礎能力試験の出題例

【政治】

我が国の統治機構等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

- 1.日本国憲法において、天皇は、日本国及び日本国民統合の象徴とされ、その地位は、主権の存する日本国民の総意に基づくものとされている。また、政治的な権能は一切持たず、衆議院を解散するなどの形式的・儀礼的な国事行為を内閣の助言と承認により行うこととされている。
- 2.日本国憲法において、国会は、国権の最高機関であって、国の唯一の立法機関であると定められており、その首長は内閣総理大臣であるとされている。そのため、衆議院と参議院が異なる議決をした場合は、内閣総理大臣が所属する議院の議決が国会の議決となることとされている。
- 3.日本国憲法において、衆議院が内閣に対して不信任決議案を可決したときは、内閣は衆議院を解散しなければならないと定められており、総選挙の後に召集される臨時会において、内閣総理大臣の指名が他の全ての案件に先立って行われる。
- 4.国会は、法律案の作成、予算の作成、条約の締結、内閣総理大臣の指名などの権限を持っており、日本国憲法において、これらについて衆議院の優越が定められている。また、内閣にも法律案の作成の権限があるが、成立する法律の過半数は議員が提出した法律案に基づいている。
- 5.裁判所は、他の国家機関からの干渉を受けることなく裁判を行わなければならないため、日本国憲法において、罷免の訴追を受けた裁判官は、特別裁判所である弾劾裁判所で、最高裁判所の裁判官による裁判を受けなければならないと定められている。

2019年（令和元年度）
財務専門官 基礎能力試験の出題例

【解答】

判断推理：5

数的推理：2

生物：3

日本史：4

政治：1

複製禁止